

出張報告

出張件名:日本機械学会 M&M2018 材料力学部門講演会での学会発表

出張場所:福井大学

出張期間:2018年12月21日(金)～23日(日)

2018年12月21日(金):東京→米原→福井駅 移動



2018年12月22日(土):学会出席



9:00～土居君(M1)が「計装化した高温押込み試験法による耐熱材料の弾塑性特性評価」と題して発表しました。立派な態度で発表するとともに、会場から多くの質問を頂きました。



引き続き別室にて9:30～福島君(M1)が「火山灰堆積したニッケル基超合金の組織崩壊に関する研究」と題して発表しました。研究発表に関心をもってもらうとともに、重要な質問を沢山いただきました。



引き続き同室にて9:45～山崎君(M1)が「相対論的熱伝導と連成された熱弾性応力波の一次元解析について」と題して発表しました。重要な質問を沢山いただきました。ありがとうございました。

午前中、さらに研究報告を聴講し、午後から学生グループと私(荒井)とで別れてプチ観光してきました。



豪華な昼食



学生グループは恐竜博物館へ。



私(荒井)はひとり一乗谷朝倉氏遺跡へ。



JR福井駅前



一両編成の車両にてゆったりと移動



約30分で一乗谷に到着



徒歩約20分で遺跡に到着



景色がよく大変素晴らしい場所でした。





電車がなく、しかたなく路線バスにて福井
駅へ戻りました。



今回の出張メンバーにて飲みに行きました。



2018年12月23日(日):学会出席



記念撮影です。



午後13:30～荒井が「特異積分方程式による介在物と相互作用するき裂進展経路の予測法に関する研究」と題して発表しました。久しぶりの学会発表でした。

無事学会も終了し皆で帰宅しました。自宅には20:00に到着しました。みなさん、お疲れさまでした(荒井)。